

# 生活知恵袋

せいかつちえぶくろ

Vol. 79

## 今月のテーマ デジタル社会と家族間の関わりII

無理にこじつけるわけではないが「デジタル社会」が進み、家族間の関わりも大きな影響を受けている。日常化し、影響を受けていること自体が認識されていないのかもしれない。先月号では、避けて通れない所まで来てしまったと表現し、否定していると誤解を与えてはいけないので再度確認してみたい。

デジタル化が劇的な進化をもたらしたのは事実だし、自分でもデジタルのもたらす恩恵にどっぷりとつかっているのである。効果の反面で、その弊害や怖さも感じている今日この頃であるが、そう思うのは私だけだろうか…?

若い人たちにしてみれば、生まれた時から日常に溶け込み、特別なものではなく、ごく当たり前の事だ。今や、デジタル化のもたらしたものと、失われてしまったものを知っている人間は、少なくなっている。であれば、その弊害や怖さを知る者は、それを伝える義務と責任がある。決して、順応できない奴(私)のヒガミや弁解をするつもりはない。ましてや、使う人への批判や説教をしようなどの他意がある訳ではないし、是非とも一緒に考えてもらいたいと思う次第だ。もしかしたら、デジタル社会が進行する中で、人間性そのものにも影響が出ているのではと考える今日この頃だ。

去る11月、生後16日の「赤ちゃんの声がうるさい」からという理由で、ゴミ箱に閉じ込め窒息死させた夫婦が逮捕された。その間二人は1時間半にわたりゲームをやっていたという。この、あまりにも身勝手な行動はなぜ起こってしまったのであろうか? デジタル機器やゲームが直接の原因ではないが、それへの依存心や夢中にさせてしまう魔力のようなものがあるのかもしれない。赤ちゃんが、親の都合やリモコン操作のように思いどおりにならない現実を、受け入れられなくなってしまったのか…。

かつて、「たまごっち」という爆発的なヒットをしたゲームがあった。面倒を見ないで「たまごっち」が死んでしまっても、リセットをして再開できてしまう。人間社会は仮想ではないし、リセットも出来ない。改めてアナログの大切さを感じながら、デジタル社会にあつての生き方を一緒に考えてほしい。



デジタル生活・機器はある意味、実にコントロールしやすい。適切な操作と機器の故障がなければ、確実に思い通りの動きをしてくれる。(吾輩にしてみればその操作自体がうっとうしく、手を焼くことが多いのだが...) 反面、操作自体が間違っていたりすると、思いもよらない事故や損失を招きかねないリスクも抱えており、「メリット・デメリット」は常に隣りあわせだ。デジタル機器に限った事では無いにしても、とりわけ注意が必要だ。コミュニケーションというよりは、操作による指示・指令を的確にすることが求められ、使いこなしが出来るようになってくると、その価値は無限大に拡がる。

一方、子育て、夫婦の関わり、職場や友人関係、恋愛などの人間臭い関わりは、デジタル生活の便利さと比較すると、面倒くさいとも思ってしまうかもしれない。実際、恋愛にわずらわしさを感じ、パートナー(妄想)な世界にのめり込む者もいるというが、なぜそんなことが起こってしまうのか? ゲームと割り切ればありだろうが、健全で燃えるような恋をしてほしいものである。

とは言いつつ、時々「女房殿を動かすリモコンがあれば」と思うこともあるが... いやいや不謹慎でした。反省です。やっぱりデジタル依存病に侵されてしまったか!?

### コミュニケーションの在り方



齋藤 廣勝 (さいとう ひろかつ)  
株式会社トータルライフサポート代表取締役  
・CFP®ファイナンシャルプランナー  
・1級ファイナンシャルプランニング技術士  
・日本商工会議所 年金・退職金等認定講師  
・住宅ローンアドバイザー  
・金融広報アドバイザー

## 保険と暮らしの相談センター

“生命保険でこんなお悩みはございませんか!?”

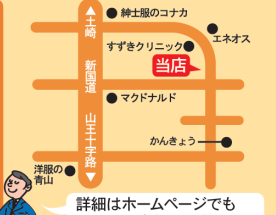
- ◆ 保険の見直しを検討している
- ◆ 加入している保険が本当に良いのかわからない
- ◆ 更新時期が近く、保険料がアップしてしまう
- ◆ 将来の子供の教育費が心配

**相談は無料!!**  
納得いくまで相談できます。

お気軽にご相談ください。

株式会社 トータルライフサポート  
募集代理店

〒010-0916 秋田市泉北3丁目17-22  
● 営業時間/9:30~19:00  
● 定休日/水曜日  
**TEL 018-827-7611**  
FAX 018-827-7610  
URL <http://tls-akita.co.jp>



知るぽると 秋田

### お金に関する生活の不安を解消しませんか?

講師無料派遣 公民館・婦人会・老人会などが主催する学習会やセミナーに講師を派遣します。

テーマ: ライフプラン  
年金・保険・税金  
遺言・相続  
消費者トラブル防止  
金融経済情報

【秋田県金融広報委員会とは...】秋田県、東北財務局秋田財務事務所、日本銀行秋田支店、県内金融機関などで構成する委員会で、中立公正な立場から、暮らしに身近な金融に関する情報を発信しています。

**秋田県金融広報委員会 TEL.018-824-7814**  
秋田県金融広報委員会 検索 (事務局・日本銀行秋田支店内 平日9:00~17:00)

## ● デジタル社会の子育てを考える

さて、ここまで書いておきながら、ふと思ってしまう。この「生活知恵袋」の本来的な目的は、生活の様々な問題に視点を当て、情報提供を行い、抱える問題を解決したり、将来の生活設計に資するところが出来ればと書き始めたものだ。しかし、この度の内容は少し趣が違う。「知恵袋」というよりは、近年、どうしても気になってしょうがない想いを綴っている。

皆様には、決して意見や考えを押し付けるつもりもない。一見すると私からの一方通行の発信に思えるかもしれないが、常に双方向の関係を意識し、一緒に考えていただければ幸いだ。読んで下さった方が共感し、声をかけてくださる事も多い。お叱りも含めて、ご意見等があったらぜひ声をかけてほしいものだ。

この度の、デジタル社会と子育てを関連付けているのは、社会の環境がデジタル化のみならず大きな変化を遂げ、改めて子供たちに与える影響を考えていかなければならないのでは、という理由だ。皆さんのお考えはいかがだろうか。親として、社会の一員として、次世代を担う子供たちの健やかな成長を願わずにはいられない。危険や誘惑から保護しなければならぬ責任があるし、不安を排除し将来に夢と希望を持ってもらえるような子育てを目指さなければならない。

## ● 子供の周りで日常化するデジタル

子供に限った訳ではないが、今の子供たちにとってのデジタル化は、生まれた時からそうであった。違和感もないのは当たり前なことだ。メリック・デメリットの違いを知る親の世代は、それを意識した子育てが必要となる。

かつての意思伝達は、電話や郵便が主流だったが、デジタル社会の中で、どう変化をしたのだろうか？ 伝える側の声から、受ける側の耳へ直接届く電話の場合、話す側の声の「大きさ」、「トーンの高低」、「速さ」、「イントネーション」などから伝える

内容の重要性や、感情の度合い、表情なども感じられる。手紙の場合、思いが筆に伝わり文字になり、思いの丈を切々と綴られた文章が封筒に収められる。ポストに投函された郵便は、第三者の手を借りて相手の元に届けられる。送る側も受ける側もそのプロセスの中で感情も揺れ動く。投函してから我に返り、なんであんなことを書いてしまったのか。恥ずかしくなって赤面し、投函してから後悔したりして…!! あれっ!? 俺は今、何を言っているのか…? まあ、吾輩の思いはさて置いて本題へ戻ろう。

今や意思の伝達は、先の電話や手紙から、パソコン・スマホ・携帯を介したメール・ツイッター・フェイスブック・LINEなどへと、とって変わった。メールの意味は郵便物だが、今やメールはメールと解される時代だ。嘘のような話だが、彼女が後でメールで送って、「言ったのに、待てど暮らせど届かない。数日後、彼女の郵便受けには確かにメール（郵便物）が間違いなく届いていた…! というひと昔前の話があった。また脱線してしまっただ。もとい。」

両者の意思伝達には、決定的な違いがある。前者のアナログ的な方法では、伝える側の思いの丈や感情が読み取れる。一方、定形の文字と文章だけのメールでは、感情までは伝えにくい。それを補う為、顔文字などを駆使する方法もあるが。打った方にそのつもりはなくても、とんでもない誤解を招くことさえある。もちろん、いつでもどこにいても、相手の状況に関係なくメールは発信することができる。スピードや手軽さでは絶対的な優位性があるが、本音や感情までは伝わらないことがあるから注意が必要だ。

”ごめんなさい”の一言さえどこまで伝えられるのか、どう受け止められるのか…?

## ● 便利さと同居する弊害を排除する

家の中にいる親子の会話がメール、友達同士のコミュニケーションがメール。友達がいつの間にかゲームになり変わり、人間対人間の関わりがど

んどん失われていくような気がしてならない。デジタル化での便利さの陰で成長期の子供たちは一体どんな影響を受けているのだろうか。

顔が見えない関わりの中で、かつて喧嘩や集団行動で培われたコミュニケーション能力が衰退し、社会性や適応能力が失われかねない。遊びがデジタル化し、外で遊ばないことによる肥満や運動能力、更には健康そのものにも影響を与えかねないし、物を作って遊ぶことによって育まれる創造性や感受性も育たなくなってしまう。分らないことを調べるのは、自らが体験したり、辞書や図鑑で調べることからインターネットへ変わり、探究心や、冒険心や、行動力が育たなくなってしまう。子供たちの体格自体は大きくなっても、心や人間力そのものは、はたして育っているのだろうか…? 世の中が飛躍的な進歩・進化を遂げている中で、失われているものがあることを、改めて考えなければならぬ。

かつての子育ては、子育て自体を意識する必要はなかった。何もしなくても、社会全体が子供たちに、自然に干渉し、礼儀や常識、事の善悪に至っても、学ぶことが出来ていたような気がする。今や、それぞれの家庭が改めて子育てを意識し、考え話し合わなければならぬ時代と言えそう。このままだと、子供たちが危ない。

## ● 今後の課題

今月の内容は、答えのようなものがない。読者の皆さんから、どうすりゃいいんだ、と言われそうだが、あえて自分の考えは書かないことにした。なぜなら、問題の所在は、それぞれの家庭環境でも異なるし、意識も違う。それぞれの家庭の中で、子育てにおける家族間の関わりを改めて考えていきたい。

親も、家族も、学校も、地域社会も、大人としての果たすべき責任がある筈だ。

来月号は、デジタル社会と家計との関わりを考えよう。